



「これまでの仕事は全部楽しいものばかり。その中でも、今が一番楽しいと感じています」と話す重田翔之介さん。その理由は、木造住宅の大工という新たな仕事にチャレンジしているから。「鉄筋の総合デパート」である藤工業株式会社としてはもちろんのこと、重田さんにとっても木造住宅の建て方は未知の領域。開拓者として挑む姿を追いしました。

藤工業に入社するまでの経緯を教えてください。

私の出身は岩手で、高校を卒業後は神奈川の鉄筋会社に就職。そこでは2年ほど働きましたが、初めて地元を離れたためか、ホームシックのような状態になってしまいました。「地元に戻りたい」と思ったものの、岩手ではなかなか仕事が見つかりません。そのとき、職場の先輩から「宮城で鉄筋をやっている会社が求人募集しているよ」と聞いたのが、藤工業を知ったきっかけです。地元に近い場所で働けると思ったため、入社を決意しました。

入社したのは2016年です。最初は宮城工場で働いていましたが、立ち上げ間もない千歳作業所から応援の依頼があり、入社から半年ほどで北海道へ。当初は「1週間だけの応援だから」という話だったのですが、気がつけば8年近く在籍していました（笑）

現在は木造の仕事をしているということですが、何がきっかけだったのでしょうか。

北海道の拠点では鉄筋を作っていたのですが、会社として木造住宅を手がける話が持ち上がった際に、社長からこう声をかけられました。

「お前の居場所は工場じゃない。お前の生きる道は現場だよ」。

私はその一言を聞き、核心を突かれたような思いがしました。実は工場で働きつつも「自分は現場の人間なのかもしれない」と、常々感じていたのです。ただ、社内には木造住宅のノウハウがありません。そこで、社長の計らいにより、栃木の会社で

1年間大工の修行をすることになったのです。フィリピンからの実習生1名と一緒に栃木に移り、上棟を基本から学びました。2024年3月には埼玉の拠点に戻りましたが、引き続き栃木の会社に教を乞いながら日々勉強を重ねています。

新しい挑戦に際して、苦勞したことはありましたか。

仕事自体はとても楽しく、「社内で木造がやれるのは、社長に抜擢された自分だけだ」という自信にもつながっています。そうした中で困ったことといえば、関東の夏の暑さでしょうか。北海道に長く住んでいたため、近年の酷暑に体がなかなか慣れないのです。栃木に移った2023年には現場で熱中症になり、倒れて入院してしまったほど。その後も、万が一のために現場で私だけ休憩を取らせてもらうことが多く、「もしかしたら、自分はこの仕事に向いていなかったのかもしれない」と、落ち込む日もありました。

そのときに心の支えになったのは、栃木の会社でお世話になった親方の言葉です。初めて修行に行った日に「折れんなよ」という一言をもらったことが忘れられず、挫折しそうになったときには、よくその言葉を思い出しています。また、その会社の社員は実力派揃い。次々に仕事を片付けていく姿を見ると、「自分も負けていけない」という気持ちがわいてきて、いつの間にかネガティブな考えは吹き飛んでしまいます。

最後に、今後の目標をお願いします。

目指すは、鉄筋も木造もできる人材。少しでも早く、木造の仕事でも一人前になれるように励んでいます。栃木の修行先の人たちからも、「いつになったらうちから旅立つの？」と催促されているところです（笑）

また、周りから「一緒に働きたい」と思ってもらえるような人物であり続けたい。今、当社には海外からの実習生が70人ほど在籍していますが、私と仕事がしたいと言ってくれる子もたくさんいるようで、ありがたい限りです。誰からも慕われる存在でいられるよう、これからも分け隔てないコミュニケーションを心がけていきます。

「栃木と一緒に木造の仕事覚えた実習生には、非常に感謝しています。ほかの実習生と離れて『寂しい』と言いつつも、スタートから地道に努力を続けてくれました」。

今も共に頑張ってくれているその実習生の存在を、皆に知ってほしいと話す重田さん。周囲に温かな眼差しを向けつつ、瞳を上げたその先には、藤工業がまだ見たことのない未来が広がっています。



重田さんってどんな人？

巻頭インタビューに登場した重田さんをさらに深掘り！同僚時代から悩みを聞く仲だったという薬師神さんに、重田さんへの熱い思いを伺いました。



北海道工場
工場長補佐
やくしじん さとる
薬師神 聖 さん

重田さんの尊敬しているところ

分け隔てなく相手と接し、誰からも好かれるところが羨ましくもあり、尊敬するところです。裏表がなく、自分をさらけ出していることから、相手が安心して心を開けるのではないかと思います。また、約1年半前に業務の異動があり、重田さんは扱う製品が鉄から木へと変更になりましたが、知らない場所に踏み込む勇気やチャレンジする姿勢も尊敬しています！

重田さんを一言で表すと？

パワーに満ち溢れたコミュニケーションの達人

技能実習生として働く外国の方にも臆せず、誰にも踏み込んでいけるずば抜けたコミュニケーション能力の持ち主です。仕事でも常にパワフルで、作業のスピードが衰えることなく一日中エネルギー。周りにも元気を与えてくれる存在です。

重田さんへのメッセージ

ゼロからのスタートで自分の経験を積みながら頑張っていると思います。これから本格的に仕事が始まると聞いていますので、環境の波に負けずに今までのパワフルさで乗り越えていってください！



入社4年目 社員の今!



宮城工場 積算
さとう しゅういち
佐藤 修一さん



4年目

気づけばメンバーは4名!教えた人が教える立場に

4名いれば、視点や考え方もそれぞれ違い、さらに新たな気づきや学びが得られるように、自分の仕事については、自分なりの手順や方法が確立されて作業効率アップを図ることができました。

3年目

新メンバー加入で教わる立場から教える立場へ

教えたことを理解されているか、どのように受け取られているかと不安に感じるようになった時期であり、教える立場の難しさを実感しました。一方で「このような方法もあるのか」や、「この視点で考えるとこうなるのか」と、新たに学ぶことも多く、積算業務の奥深さにも気づかれました。

2年目

先輩のチェックなし、自分だけで仕事を完結

お客様に直接電話をし、積算の方法や内容についての問い合わせ、納期の確認なども行うように。当初は「これで間違いはない?」「お客様に満足していただける?」との不安もありましたが、経験を積むごとに責任をもって仕事を完結できるようになりました。

1年目

半年間の研修を経て宮城常駐へ

入社当時、宮城工場に積算部がなく、研修を東北支店の積算部で行うことに。当初は新しい業種ゆえに専門用語もわからず不安がありました。しかし半年間、実際に仕事に取り組みながら教えてもらう研修で知識を増やし、積算業務の図面からの拾い出しを行えるようになりました。

4年間で成長した点

苦手だった電話対応がスムーズに

入社当初はお客様と通話する際、電話越しでは見えない図面を言葉だけで説明することに難しさを感じていました。実は今でも多少苦労する場面があり、いまだ「難しいな」と思うこともあります。しかし経験を重ねたことで、入社当初に比べればはるかにスムーズに話せており、成長できたと感じます。

模範にした先輩

東北支店の先輩方

入社後に行った研修の担当で、研修終了後も不明点や疑問点でお世話になった先輩です。迷いなく積算する判断力と瞬発力は「すごい」の一言。知識と経験を積み重ね、模範にした先輩方のようになりたいと思っています。

宮城工場で新たに積算部を設けることが決まったタイミングで、縁あって入社した佐藤さんは、宮城積算の記念すべき第一号となりました。前職でも図面を見ながら作業を行っていましたが、業種自体は全く異なり、おおかた「ゼロスタート」といえる状況でした。それでは、この4年間の成長の軌跡を早速辿っていきましょう。

入社4年目までの軌跡

入社当初の様子



今後の目標

積算部全体のレベルアップを!

私一人から始まった宮城工場の積算部も、今や4人体制。自分も含め、全員でさらなるレベルアップを目指したいと思っています。

藤田's TIME ~藤田社長が語ります~

社長曰く「安心・安全ってひと口に言うけど、安心と安全は違うよね。
読めば納得、その通りそこから「安全」「事故防止」を熟考した社長の答えとは……。

ふじた きよし
代表取締役社長 藤田 清志さん



安全でなければ……

たとえば、仕事で仲間がいると当然安心。でも、仲間がそばにいても、事故が起こるときは起こります。そう、安心で事故は防げない!安全を守ってこそ事故防止!安全でなければ、安心は得られないのです。

事故防止について考えた

ここ最近相次ぐ工場での労働災害や物損事故を受け、あれこれ考えました。「類似災害・事故を防げば、発生件数は減る」「じゃあ、効果的な防止策は?」と。まず思ったのは「大丈夫だろう」と気楽に考えないことが大事。「へが起ころかもしれない」とリスクを事前に想定して防止すべきです。また、どんな小さなことも見逃さない、放置しない、ヒヤリ・ハット事例を共有して、改善策を検討し実行することが大切です。その一つひとつの積み重ねが危険の芽を摘みます。

安全が最優先!

品質、工程、コストも大切ですが、優先順位トップは安全です。安全は一日にしてならず「100%安全・安心な職場」に少しでも近づけるよう、安全意識を強くもってください。そしてこれ以上、被災者、被害者を絶対に出さないと誓ってください!皆さん全員が元気な体で出社して、元気な体で「ただいま!」と帰れるよう、どうか日々で安全に!

第6号の
ふじ丸くんクイズの
答えは……
コスモス!



12月誕生日 スタッフ紹介

今号から、社内報で社員の皆さんのお誕生日を紹介します。
12月にお誕生日を迎えられる皆さん、おめでとうございます!

12/2 みと りゅうじ
水戸 隆二さん

12/4 らていえら るくえ じゅにあ らうれる
LATIERA ROQUE JR. LAURELさん

12/6 ろべす ふろんていの さーど またべら
LOPEZ FLORENTINO III MATABELLAさん

12/6 ぐえん かつく ずん
NGUYEN KHAC DUNGさん

12/9 ばるま ろりん ばらんや
PALMA ROLYN BARANGYAOさん

12/11 ほり ゆうき
堀 祐樹さん

12/14 ほんだ ひろみ
本田 裕美さん

12/15 ゆさ ともこ
遊佐 智子さん

12/15 しばた のりあき
柴田 紀章さん

12/17 ちゃん てい ほあん
TRAN THI HOANさん

12/17 ばもろるこん じえいそん あらはる
PAMOLARCON JASON ALAJARさん

12/23 かねた こうじ
金田 晃治さん

12/30 なかざわ ひろあき
中澤 裕視さん

皆さんおめでとうございます!

